

実は「出身事業」多数！「わかやまの底力・市民提案実施事業」

今年で開始から 13 年めを迎える「わかやまの底力・市民提案実施事業」。和歌山市の地域課題を NPO・ボランティア団体と市担当課の連携・協働によって解決を図ろうとする事業です。今年度の募集が今月からスタートしました。「底力事業」の機会を上手にを使って、活動を広げませんか。

2つの部門

「底力事業」は 2 年前に大きくリニューアルし、全事業が翌年度実施することとなりました。現在は「テーマ部門」、「自由部門」の 2 つの部門があります。テーマ部門は、提案者とテーマを提示した窓口課が事前協議を経て合意に達した事業が応募できるもので、交付額の上限は 150 万円。自由部門はテーマに関わらず自由に企画提案できるもので、交付額の上限は 50 万円（事業費が 20 万円以下の場合）は 10 割、20 万円を超える部分は 5 割が上限。なお自由部門は今年策定された「和歌山市長期総合計画」を意図された内容であることが望ましいとされています。

市当局との協働が原則

和歌山市の「底力事業」の大きな特徴は「提案団体と和歌山市役所の担当課が連携・協働して事業をおこなうこと」にあります。採択された場合は、事業に関連する市役所の担当課との連携・協働を進める必要があります（テーマ部門は応募前にも担当課との協議と合意が必要）。単に、団体が好きな事業を好きなようにおこなうのではなく、和歌山市の実情に応じてできるだけ多くの市民の利益につながるよう、行政・団体双方が

創意工夫を凝らすことが求められます。そのため「協働ガイドブック」も用意されていて、団体側は行政の意思決定プロセスの流れや仕組みを、行政側は NPO やボランティア団体のことを、それぞれ学ぶこともできますので、交付金による事業が終わった後のことも考えながら事業を展開することができるといわれています。このような仕組みが構築された事業は県内でも和歌山市だけではありません。

採択までの流れ

締め切りは来年 1 月 15 日（月）必着。そのあと選定委員会による 1 次審査があり、2 次審査の対象と

なる案件を選定します。その後、2 次審査の公開プレゼンテーションを経て優先順位を決定。来年度の和歌山市の一般会計予算が議会で議決された後、予算の範囲内で交付対象事業の決定をおこなうこととなります。

こんな事業も「底力出身」!

過去に採択された事業のなかには、現在にわたって活動が続いているものも少なくありません。例えば NPO 法人和歌の浦万葉新能の会の「高津子山を桜の山」と題した高津子山の整備活動は過去の採択事業ですが、現在もほぼ毎月、活動が続けられています。

また、和歌山市内に残されている貴重な歴史的な建造物を映像に収める取り組み、和歌山の名産品や名所などを子どもが楽しめる塗り絵で紹介する「わかやまのぬりえ」、和歌山公園動物園（いわゆる「お城の動物園」）での市民ボランティアの活動など、みなさんも一度は目にしたり耳にしたりしたことがあるような事業のなかにも「底力事業」が大きなきっかけの一つになっっているものが多数あります。



【過去の採択事例から】
(上)「わかやまのぬりえ」はお子さんに大好評。イベントには巨大版も登場します。
(右) 今年 10 周年を迎えた「市民 ZOO フェスティバル」。市民ボランティアガイドが活躍中。



テーマ部門で提示されている 7 つのテーマ（カッコ内は担当窓口課）

- ・家具転倒防止用固定器具取り付け支援（地域安全課）
- ・こどもの防災教育（地域安全課）
- ・STOP！ポイ捨て「まちなか美化推進事業」（自治振興課）
- ・障害者施設授産製品の周知及び販売促進（障害者支援課）
- ・障害者支援事業所の地域連携の充実と人材育成（障害者支援課）
- ・男性の育児参加の仕組みづくりについて（子育て支援課）
- ・次世代リーダーの育成（青少年課）

和歌山市役所市民協働推進課（和歌山市 NPO・ボランティアサロン）

〒640-8033 和歌山市本町 2-1 フォルテワジマ 6 階
TEL 073-402-1213 FAX 073-402-1214
業務時間 月～木・土・日曜日の 8:30～17:15
休館日 毎週金曜・祝祭日・年末年始
ウェブサイトは和歌山市トップページの「ページ番号検索」で 1008918 を入力すると表示されます。

SDGs 国連・持続可能な開発目標を知ろう ②

【目標 17 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる】
SDGs の実現に向けて「グローバル・パートナーシップが重要とはしつつも、各々の国家がパートナーシップにばかり気を取られるわけにもいきません。

そこで、各国は自国の経済・社会開発に対して第一義的な責任を負うことを求めており、国際的なルールや合意事項と合致する場合に限って貧困撲滅をはじめとした持続可能な開発のための政策が実施できるものとしています。ただ、自国の開発は国際的な経済環境の支援なくしてはできないことから、互恵的な国際貿易と、通貨・金融システム、より発達した地球規模の経済ガバナンスが

必要であると、自国の開発については国際関係と裏腹の関係であることも示唆しています。

国連では世界各国で様々なフォーラムを開催し、様々な宣言を採択しています。SDGs は、開発途上国の開発資金について議論した「アディスマバ行動目標（2015 年・エチオピア）」、後発開発途上国のニーズに対処する世界的なパートナーシップについて策定した「イスタンブール行動計画」（2011 年・トルコ）など、開発途上国支援やアフリカ地域の開発に関する計画等の重要性を認識し、紛争下や紛争後の国々が持続可能な平和と持続可能な開発を達成するための大きな課題を抱えていることを認識することとしています。

さらに、中所得国についても SDGs を達成するために困難な課題があるとして、様々なステークホルダー（利害関係者）による支援を行う必要があると説いています。

国だけではなく民間企業活動についても掲げられています。

民間企業の活動や投資、イノベーションは「経済成長と雇用創出のための重要な鍵である」と評価するとともに、企業の大小や組合等の組織形態や国籍を問わず、民間企業の多様性を認めることとしています。そしてこのような民間セクターに対して、SDGs 達成のために創造性やイノベーションを発揮することを求めています。

様々な労働や人権に関する条約や協定の締結国において、労働者の権利や環境、保健基準を遵守しながら、ダイナミックに機能する民間セクターの活動を促進することを謳っています。

さらに、世界貿易機関（WTO）のもとで、公平で差別のない多角的貿易の促進と貿易の自由化に向けた努力を継続しつつ、途上国等に対して、貿易関連の能力構築を促進するための支援の重要性を訴えています。

このように、既存の様々な国際的枠組みと連携しつつ、人口や経済規模の多少を問わず、様々な国家が参画できる社会づくりが求められているのです。



みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

●第 35 回和歌山ボードゲーム遊戯会
ボードゲームは簡単なカードゲームから複雑かつ豪華なゲームまで様々。一緒にいかが？
日時 12 月 16 日（土）
17:00～21:00
場所 古民家山崎邸（粉河駅前）
参加費 100 円（初回の方は無料）、申込不要、途中参加歓迎
問い合わせ 和歌山ボードゲーム遊戯会
備考 中学生以下は保護者同伴。詳細はブログを（http://bo-yukai.blog.jp/）

●パステージ和歌山 2017 in 緑花センター
今回のテーマは「フルーツ」。フルーツを使った創作パンや新作パンが多数登場。
日時 12 月 17 日（日）
10:00～16:00
場所 県立植物公園緑花センター（岩出市）東展示室前広場
参加費 無料
問い合わせ Gi-FACTORY (080-6169-0507・高橋さん)
備考 手作り市も同時開催。荒天の場合中止。

●発達障害に関する講演会
発達障害に関する諸問題につ

いて取り上げます。
日程 12 月 23 日（土・祝）
12:30～16:00
場所 和歌山県立情報交流センター Big・U
内容 講演「自閉スペクトラム症と関連する臨床的問題と支援の方向性」（十一元三・京都大学大学院教授）
参加費 無料（事前申込必要）
問い合わせ・申込み 和歌山県発達障害者支援センター・ポラリス（FAX 073-413-3020 polaris@jtw.zaq.ne.jp）

●「熊野古道」を世界遺産に登録するプロジェクト準備会発足 20 周年記念フォーラム
「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界登録までの経緯を振り返り、今後の市民活動を考えます。
日程 12 月 24 日（日）
14:00～17:00
場所 和歌山県 JA ビル 2 階・和ホール A
内容 辻林浩さん（和歌山県世界遺産センター長）の講演、パネルディスカッション、写真展
入場料 無料（申込不要）
主催 熊野古道を世界遺産に登録するプロジェクト準備会（http://www.kumako1997.com）

このほかの情報もたくさん掲載！
「わかやまイベントボード」
URL http://eventboard.shiminjuku.jp/

